

春の消防訓練

平成30年6月21日(木)実施
消防避難訓練 11:00～12:00

①大規模地震発生による東京団地倉庫テナントによる**避難誘導訓練**

避難人数点呼総数 723名

②個別訓練(初期消火訓練)

水消火器訓練及び屋外消火栓放水訓練

個別訓練参加者数 54名

③個別訓練(管理棟会議室を使用した**煙避難体験訓練**)

葛西消防署南葛西出張所様のご協力により、上記の消防訓練を実施しました。

総勢54名(避難葛西消防署南葛西訓練避難人数723名)という多くの方に参加していただきました。

いつ発生するかわからない大災害や火災に備えて、訓練内容をお役立てください。

葛西消防署南葛西出張所の皆様、予防課の皆様、ご協力ありがとうございました。

①緊急地震テスト放送による避難訓練



避難人数報告



②- I 個別訓練(初期消火訓練) 水消火器訓練



②-Ⅱ 個別訓練(初期消火訓練) 屋外消火栓放水訓練



③ 個別訓練(管理棟会議室を使用した煙避難体験訓練)





葛西消防署南葛西出張所
岩崎所長から
講評をいただきました。

消防署のご協力に感謝します！
今後ともよろしくお願いします。



【ご参加の皆様へ】

消防訓練へのご参加ありがとうございました。実際の火災が発生しない様に日頃の防火管理徹底をお願いします。

しかしながら、万一、発生してしまった場合に備えて、こういった訓練を行い、実際の消火用具・設備の使用方法を実地に体験することが何よりも大切です。

今回、参加されなかった方々にも是非とも訓練で学ばれ、体験された内容を共有していただくようお願いします。

消火活動マニュアル

1. 消火器による初期消火活動

消火器の操作は、まず安全ピンを抜き、ホースを火元に向け、レバーを強く握り、火点に向かって消火薬剤を放射します。手前から火元に向けて、ほうきで掃くように操作します。

消火器による初期消火時間の目安として、炎が天井に燃え移る前までとし、それまでに消火できない場合は避難を開始します。

消火器の使い方



1 安全ピンを抜く



2 ホースを火元に向ける



3 レバーを握って放射

粉末消火器



※ 消火器は、粉末消火器と強化液消火器の2種類が配置されています。

粉末消火器：窒息作用により消火する
強化液消火器：冷却作用により消火する

粉末消火器は、強化液消火器より消火能力は高いのですが、一度消火しても、再燃する可能性があるため、強化液消火器も合わせて使うようにします。

強化液消火器



お近くの消火器を確認下さいね！！

2. 消火栓設備による消火活動

屋外消火栓の場合(放水する人と消火栓側のバルブを操作する人の2人が必要です。)ホースにねじれが無い様に確認しながら延長し、出火箇所に向かいます。出火箇所に到着し、放水の準備が出来たら『放水始め』の合図を行い、始動ボタンを押し消火栓ポンプを起動し、バルブを解放します。



消火栓始動ボタン



慌てると
忘れがち
です

屋外消火栓



消火栓バルブ



ホース延長状況



放水状況

